

教育データの取り扱い

九州大学
理事・副学長 安浦寛人

2020.5.1

遠隔授業と教育データ

- 今回の遠隔授業は教育のデジタル化を推進
- 様々な教育現場のデータを収集できる
 1. 教材や遠隔授業システムの利用状況
 2. 遠隔授業の内容
 3. 学生ごとの教材や授業への反応
 4. 教員ごとの授業内容
 5. 教員と学生のコミュニケーション
 6. 成績評価に関する情報
 7. 学生の成長過程

具体的なデータ

- 授業の録画(各教員の責任)
- 小テストの成績、課題への対応
- 学生との質疑の記録(チャットなど)
- 教材へのアクセス記録
- LMSに蓄積されるデータ
 - 学生ごとの履修履歴
 - 教員ごとの教育実績
- その他利用するツールのログデータ

利用されるツール

- オンライン授業(会議)システム
- LMS
- 教材配信システム
- e-learningシステム
- e-ポートフォリオ
- SNS
- ワークスペース
- メール
- ホームページ

教育データの活用

- 主たる利用
 - 学生の成績評価(教員、教務事務)
 - 自習および予習や復習(学生)
- 副次的な利用
 - 教育支援システムの改良(システム運用者)
 - 教育手法や教材の改善(教員)
 - 学習方法の改善(学生)
 - 教育体系の改善(カリキュラム設計者)
 - 新しい教育手法の研究(教育工学研究者)

教育データ収集とプライバシー保護 (九州大学の例: 緊急措置)

L3: 個々の学生の授業横断的な教育データ

個々の学生の全ての授業の教育データ

利用者: LAセンター、教育改革推進本部、情報統括本部など(仮名データ)

プライバシー保護: 特例措置のアナウンス、オプトアウト方式(検討中)

L2: それぞれの授業固有の教育データ

授業録画データ、各学生のLMSアクセス情報、教材へのアクセス情報など

利用者: 授業担当教員(実名データ)、情報統括本部・LAセンター(仮名データ)

プライバシー保護: 特例措置として学内にアナウンス

L1: 教育支援システムやツールの利用統計ログ

アクセス記録、負荷予測、資源再配分、トラブル対応

利用者: 情報統括本部

プライバシー保護: 通常のプライバシーポリシー

オンライン授業実施期間中の学習支援システムのログデータ利用について(学内通知)

主体: 情報統括本部と教育改革推進本部

目的: 全学でのオンライン授業実施期間中のオンラインでの学習状況、教員の取組状況や内容を確認し、教育効果の向上を図る。

実施内容: 本学の M2B 学習支援システムのアクセスログデータを収集・分析し、各教員等もこれらのデータを活用できるようにする。オンライン授業の実施・支援並びに学習支援システムの質・機能向上を図ると同時に、教育評価等の在り方について検討していく。

今回の暫定措置: ラーニングアナリティクス部門で**教育データ取扱ガイドライン**を策定中であるが、ガイドラインの策定・決定までの間は、学習支援システムのアクセスログデータの利用を、全学で承認する。

L2:それぞれの授業固有の教育データ

1) 授業担当教員:担当する授業科目及び学生についてのデータの利用が可能.

- 教員自身が録画した授業内容(教員が管理)
- 学生との教育支援システム上での通信内容(教員が管理)
- Moodle コースへのアクセス時間、頻度
- デジタル教科書の閲覧頻度、閲覧時間
- 実名による学生個人の学習状況の加工データ

2) データ分析者:アクセスログのデータの利用が可能

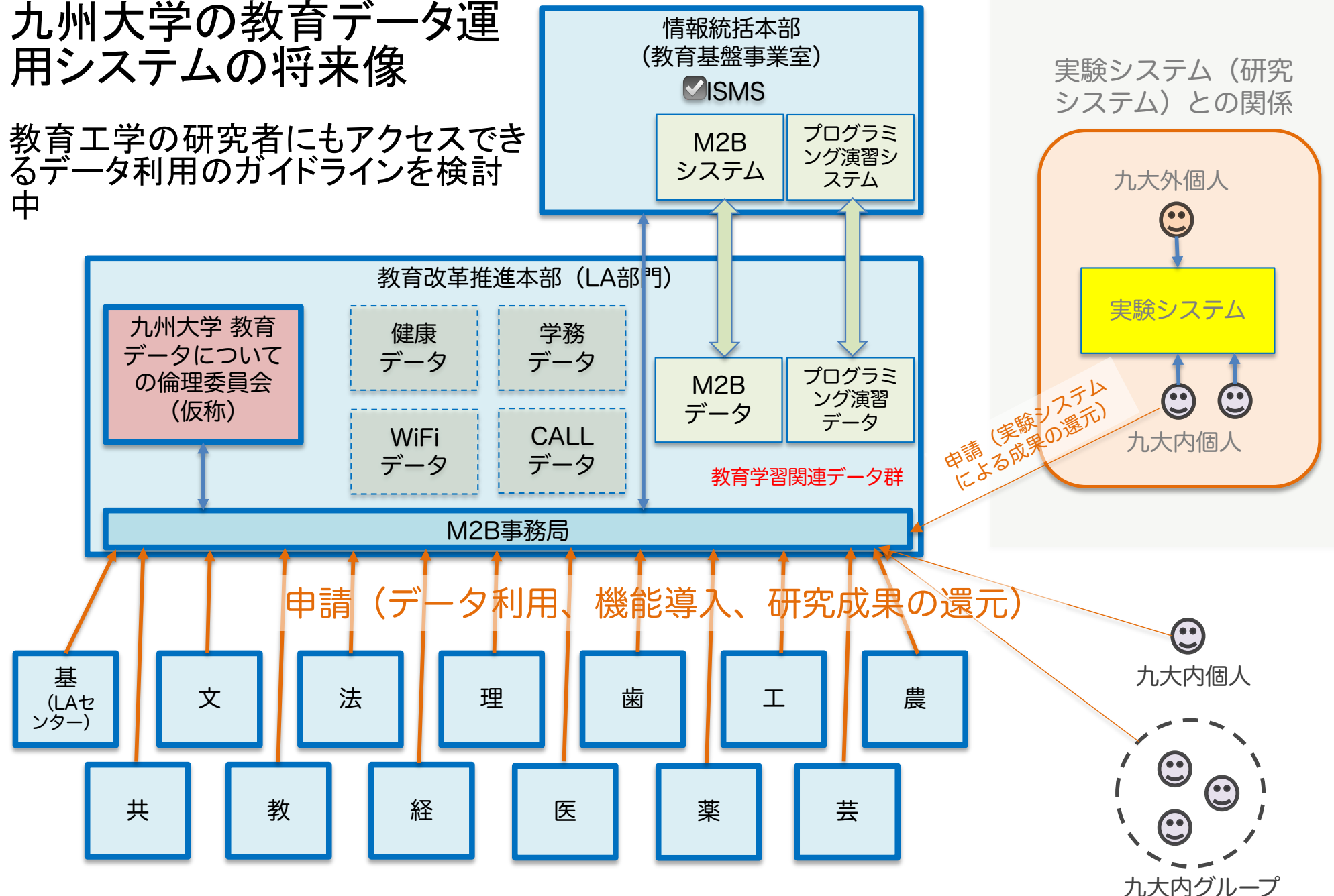
- 個人が特定されない形の仮名データのみ利用が可能。
- 当該データを処理し、教材へのアクセス頻度など授業担当教員へ渡すべきデータを作成。
- データ分析者
LAセンター

L3:個々の学生の授業横断的な教育データ

- 特定の教職員等が、オンライン授業の改善に利用する。
- 仮名化されたデータのみを用いる。
- 授業コース単位でどのようなオンライン授業が実施されたかを分析し、効果を検証し課題を洗い出す。
- 学生のオンラインでの学習状況と学習成果(成績)の関連などを分析し、効果を検証し課題を洗い出す。
- オンライン授業期間における学生の学習活動の横断的分析をし、効果を検証し課題を洗い出す。
- 特定の教職員等
LAセンター
情報統括本部 教育基盤事業室の教職員
教育改革推進本部の教職員
情報統括本部および教育改革推進本部が認める者

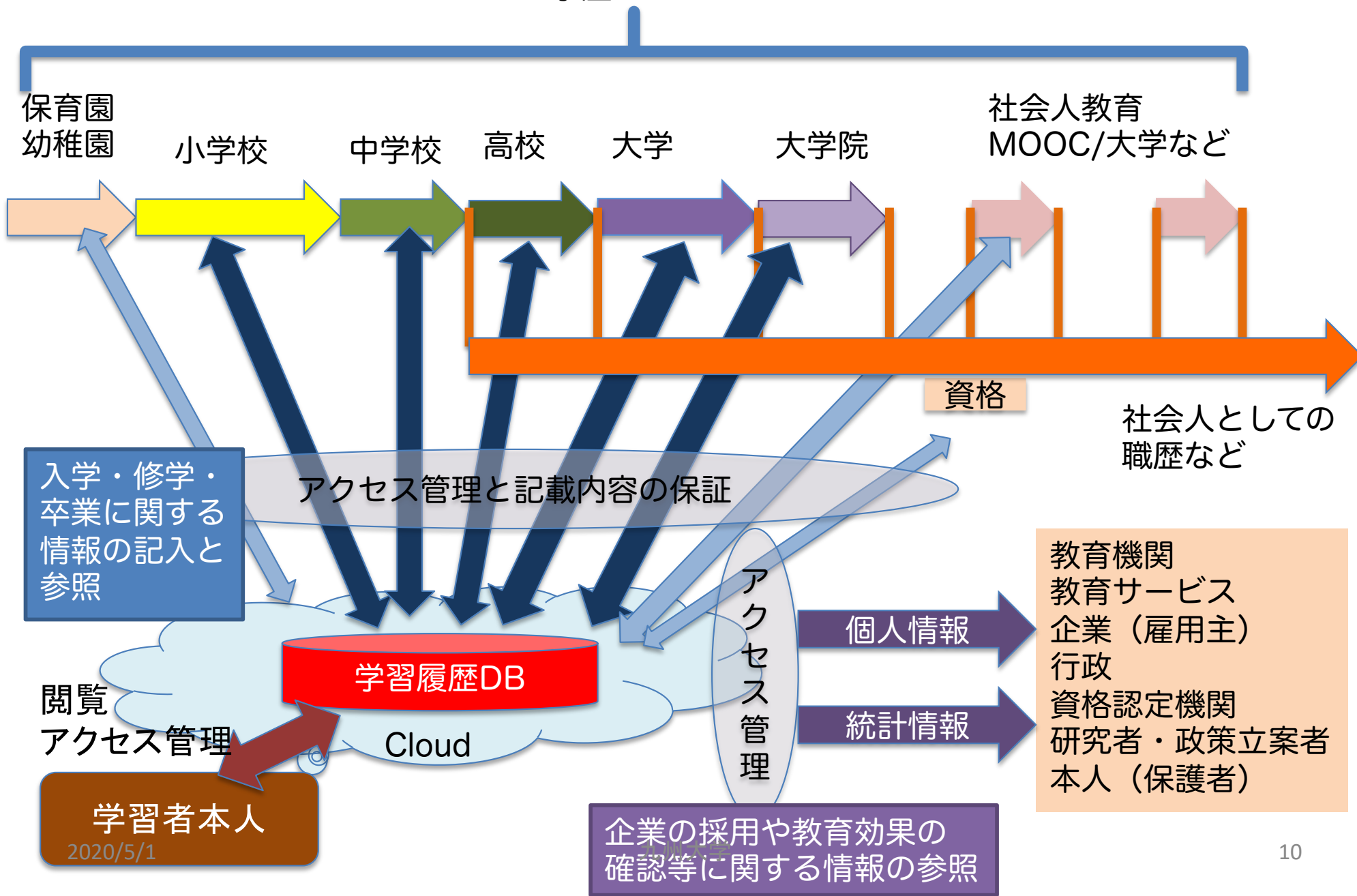
九州大学の教育データ運用システムの将来像

教育工学の研究者にもアクセスできるデータ利用のガイドラインを検討中



学習履歴データベース(将来像)

学歴



まとめ

- 今回の緊急事態における遠隔授業における教育データ収集と事後評価の重要性
 - 学生への教育効果の検証
 - 今後の教育環境の改善
- プライバシーに十分配慮した教育データの利活用
 - 教育のデジタル化における新しい配慮項目
- 九州大学における臨時措置の概要
 - 研究者へのデータ提供も考慮したガイドラインは作成中
- さらなる展開
 - 国民の学習履歴データベースへ

参考：<https://www.leds.ait.kyushu-u.ac.jp>